

井本傳廣・山崎泰正《編》

# 京都府の 不思議事典



新選組壬生会所  
公用中

新人物往来社



伏見稲荷大社の神楽・見物市伏見区

# 京都空襲

## 爆撃で児童の犠牲者も

昭和二十年三月十日の東京大空襲で、東京はその四割が焦土と化した。続いて名古屋、大阪にも空襲があり、阪神地区の主要都市も壊滅状態であった。

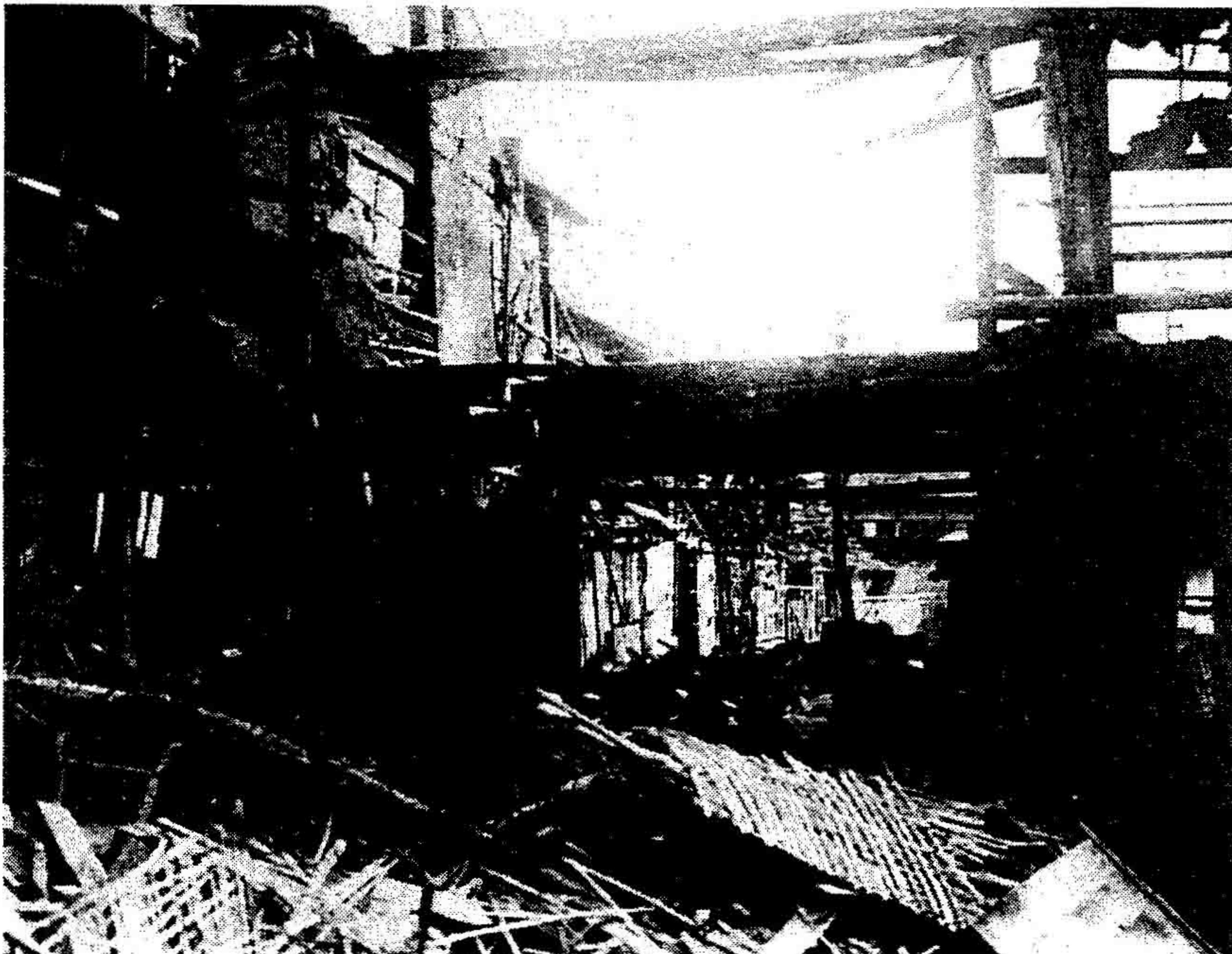
空襲の被害は軍事秘密とされ、新聞も報道管制によって「被害は軽微」とか、「京都府南部に再び爆弾投下」ぐらいの記事であった。このため、京都には空襲がなかったと思っている人も多い。

修道小学校（東山区）の「百年史」には、修道学区に爆弾が投下された記録がある。これは震度三の京都地震があつて、被害もなく学区民がやっと安心して眠りについた直後の爆撃であつたといわれている。

午後十一時二十三分ごろ、「修道校の隣接地に爆弾が投下され、校舎東北の民家に火災が発生した。類焼はまぬがれたが、講堂、北校舎・東校舎の窓ガラスは全部、爆風のために飛散し、講堂の屋根は破れて見るかげもないありさまとなった。（略）特にこの空襲によつて、修道小学校の児童九名が尊い生命を失った。このことは修道校百年の歴史のなかで、最も悲惨な出来ごとであつた」と記されている。昭和二十年一月十六日、東京大空襲の二カ月前のことである。

さらに六月二十六日、再び西陣の正親・出水・待賢の三学区に投下された七個の高性能爆弾は、家屋破壊と死傷者を出す被害をもたらした。

（平成八年九月七日）



空襲で被害を受けた修道学区

た。

昭和二十年（一九四五）一月十六日、東山区馬町の死者四一、負傷者四八人。三月十九日右京区。四月十六日右京区太秦<sup>うずまさ</sup>。五月十一日御所。六月十五日桃山御陵。六月二十六日上京区出水の死者五〇、負傷者六六人。京都府では二〇回以上の空襲で死者三〇二人、負傷者五六一人。当時、日本の大都市空襲を考えると、京都の空襲は少ない。なぜか。

世界で最初の原爆実験は、昭和二十年（一九四五）七月十六日、アメリカ・ニューメキシコ州アラモゴードの砂漠だった。広島被爆が八月六日。長崎が八月九日。実験成功から二〇日後のこと。当初、京都の原爆投下予定は八月初め。京都は一〇〇万人都市、三方山に囲まれた盆地で、南に開いた空間があり、原爆被害の広がり調べる上で極めてよい立地条件だった。日本の大都市がほとんど空襲を受け、兵器工場が京都に集まっていた。米軍は空中写真で京都上空から撮影し、原爆投下地点を梅小路操車場（JR京都駅西）と定めた。

原爆実験の総指揮者グローブズ准将<sup>じゆんしょう</sup>は、ドイツ・ポツダム会談に臨んでいたトルーマン大統領宛<sup>あて</sup>に「今朝、手術実施。結果良好。医師満足。赤ん坊の声（原爆爆発音）は

遠くまで聞こえた」と陸軍省極秘電報を打った。手紙で「TNT火薬二万トンを上回る。瞬間、真昼間の太陽がいくつも並んだ明るさで巨大な火の玉、高さ一万フィートのキノコ雲」、さらに「京都が四目標の中で最適だ」と書いた。四つとは京都・広島・小倉・新潟（のちに長崎に変更）。京都は原爆投下目的地でA、A'（最高ランク）。原爆投下のために、京都空襲を避けていた。

ポツダムのトルーマンは、陸軍長官ステイムソンと再度協議し、「京都の原爆焼失は日本占領政策に支障をきたす」と原爆目標から京都市をはずした。ウォーナー博士は「京都を空襲から守った恩人」といわれるが、GHQ占領政策のため捏造された伝説だといわれる。（山崎 泰正）

# 京都府の不田心議事典



9784404028532



1920021030000

ISBN4-404-02853-9

C0021 ¥3000E

定価：本体3000円十税

28 04 2013



井本伸廣  
山崎泰正

編



京都市吉祥院図書館



808000110

新

291